

映画研究部

映画鑑賞

レポート

平成 23 年度

12 月分

- 20118 「フォース・カインド (The 4<sup>th</sup> kind)」
- 20120 「スパイキッズ3 ゲームオーバー」
- 20221 「秒速5センチメートル」
- 20408 「パイレーツ・オブ・カリビアン 生命の泉」
- 20414 「THE LAST MESSAGE 海猿」
- 20428 「ルパン三世 血の刻印～永遠の mermaid～」
- 21408 「SUPER 8」
- 10125 「サウンド・オブ・ミュージック」
- 10901 「ゲットスマート」
- 11010 「源氏物語 千年の謎」
- 11018 「サマーウォーズ」
- 11136 「ルパン三世 血の刻印～永遠の mermaid」
- 11221 「余命1ヶ月の花嫁」
- 11237 「THE 有頂天ホテル」
- 11242 「リアル・スティーラー」

映画名「フォース・カインド (The 4<sup>th</sup> kind)」

評価 7 / 10

ストーリー

アラスカ州ノームで心理学者のアビゲイル・タイラー博士が診察していると、複数の不眠症患者が共通して午前3時ごろに白くて眼の大きいフクロウの夢を見ていた。そのことを疑問に思ったタイラーはそのことを調べ始める。

鑑賞レポート (ネタバレあり)

映画の中で出てくる白いフクロウとは未確認生命体のことを指している。

この映画は実際に起きた事件を元に実際のVTRと再現VTRを組み合わせている映画だが、実際に起きた事件ではないと後にユニバーサル・ピクチャーズが認めている。

アラスカ州ノームではずば抜けてFBIの訪問回数が多いとしているが、実際は他の所と大差ない。

上記の通り偽装をしていたが、実際にあったと言い張ってもだませるほどの出来になっている。

この映画では宇宙人はシュメール語を話しているが、宇宙人がシュメール人という説や、シュメール語を話しているという説が実際にある。

今月の鑑賞映画報告

フォース・カインド

偽装映画

映画名「スパイキッズ3 ゲームオーバー」

評価 6/10

ストーリー

スパイの世界で偉業を成し遂げた、カルメンとジェニ。しかしこれを機にスパイという職をやめて、普通の生活に戻ろうとしていた。そんな時に、「ゲームオーバー」という大人気のゲームが発売された。しかしそれは、ゲームをプレイした子供の頭を支配する危ないゲームだった。そこでジェニとカルメンが所属していたOSS（秘密諜報員組織）に呼ばれることになる。ジェニは最初は拒否していたけれど、結局行くことになる。呼ばれた理由は、ゲームの世界に入り犯人を捜し出し、やめさせることであった。一方先に入ったカルメンは、何とゲームの世界に閉じ込められていて、通信が使えない状態であった。

鑑賞レポート

ゲームの世界での冒険なので、子供たちも見て楽しむことが出来ると思います。映画で上映していたころは、3Dだったそうで、見に行きたかったです。とても後悔しています。このシリーズのテーマは「家族」ということなので、家族と協力して戦うシーンがありました。家族の絆がとても大切なんだなぁと気付かされました。最後の敵は、倒されるのではなく、説得されて味方になるシーンのところは、優しい映画だなぁと思いました。僕の妹もお気に入りの映画みたいで、2,3回見てました。最近、スパイキッズ4が作られて上映されていきました。早く見てみたいです。スパイキッズシリーズはぜひ見てない人は見てほしいと思います。家族の絆の大切さに本当に気付かされます。この映画を見て本当に良かったです。

今月の鑑賞映画報告

スパイキッズ3 ゲームオーバー

評価 3/5

子供から大人まで楽しめる作品でした。

映画名 「秒速5センチメートル」

評価 10/10

ストーリー (ネタバレあり)

この作品は、「桜花抄」「コスモナウト」「秒速5センチメートル」の3つの短編ストーリーから成っている主人公の遠野貴樹と篠原明里の純愛ストーリーのアニメーション映画である。

「桜花抄」では小学生～中学生の貴樹と明里を描いている。小学生時代、お互いはある事がきっかけで特別な想いを抱く。だが、小学生卒業と同時に明里が栃木へ引っ越してしまい、お互い想いを告げないまま離れ離れになってしまう。そして中学1年の冬、今度は貴樹が鹿児島へ引っ越すことになり、貴樹はその前に明里に会いに行くことを決意し…。

「コスモナウト」では鹿児島へ引っ越した後の高校3年生になった貴樹と貴樹に恋心を抱く同級生の澄田花苗を花苗視点で描く。しかし貴樹は花苗の気持ちとは裏腹に明里に会うため、東京の大学を受験することになり…。

最後の「秒速5センチメートル」では大人になり東京で仕事をする貴樹だが、ずっと明里に会えないまま10年以上の月日が流れていたが…。

鑑賞レポート (ネタバレあり)

私がこの作品を見て最初に思ったのは、映像がとても綺麗ということ。実写に限りなく近い背景映像がたまにアニメということのを忘れさせ、また、それにより舞台がより身近に感じられる。この作品を最後まで見た後、私はいつの間にか涙していました。貴樹と明里は小学校時代からお互いを想い続けていたが、最後まで結局会えないまま結ばれないのです。どうせ最後は結ばれてハッピーエンドだろうと思っていたが、そうではなかった。まさに不意を突かれた感じでした。さらに明里は貴樹のことを綺麗な思い出として心にしまい、別の人と結婚して幸せな家族を気付くのですが、貴樹は明里のことが心に引っ掛かり、前に進めないというラストにもひどく切なさを感じました。しかし実際現実とはこんなものだと思います。ロマンチックな結ばれ方なんてない。そんな現実を突き付けられたような気がしました。

次にこの作品全体を通じて感じたことは、気が滅入るということです。残酷に構成されたストーリー。正直軽く憂鬱になります。しかし、だからこそ素晴らしい作品だと思いました。ここまで強烈に心にくる作品はそう多くはありません。

そしてこの作品は、映画を観ているというより小説を読んでいるようでした。確かに暗いかもしれませんが、素晴らしい作品だと断言できます。より多くの人にこの作品を見ていただきたいと思います。

今月の鑑賞映画報告

秒速5センチメートル

評価 5/5

映像がとても綺麗で、一気にこの作品の世界観に引き込まれました。

映画名「パイレーツ・オブ・カリビアン 生命の泉」

評価 6 / 10

### ストーリー

ジョニー・デップ主演の世界的大ヒットシリーズ。初の3D版で、「呪われた海賊たち」「デッドマンズチェスト」「ワールドエンド」に続く第4作、新キャラクターが多数登場し、前作のラストで暗示された永遠の生命をもたらすという「生命の泉」をめぐる海賊、ジャック・スパロウが冒険へ旅立つ。

映画.com 参照

### 鑑賞レポート (ネタバレあり)

僕はまず、この映画が公開されると聞いた時、とても驚きました。なぜなら、前作の題名が「パイレーツ・オブ・カリビアン ワールドエンド」という題でした。さらに終わり方も最後にふさわしい終わり方をしていました。なので正直この映画はどんな始まり方で、どんなストーリーなんだろうと、とてもわくわくしていました。

ストーリーは前の宿敵であった海賊が突然政府の役人になっているし、主人公ジャック・スパロウと一緒にいた仲間もほとんどいませんでした。見ていて最初はあまり意味が解りませんでした。ですが見ているうちにどんどん面白くなってきて、時間を忘れるほどでした。

この映画は見る人によって、面白いと言う人と、前の3作目で終わっておけばいいのにと感じる人があると思います。ですが、ジャック・スパロウという人物の性格や生き方などがよくわかる映画なので、好きな方にはおすすめです。

映画名「THE LAST MESSAGE 海猿」

評価 10/10

ストーリー

かなりの巨大な台風が接近する中、巨大天然ガスパラントレガリアにドリルシップが衝突する事件が発生する。そして、仙崎大輔たちが救助に向かう。巨大天然ガスパラントレガリアに閉じ込められた仙崎が服部という保安官とバディとなり、閉じ込められた**3**人を救助する。そんな中、レガリアに火災が起り、船を沈めないとはいけなくなった。船を沈めに行った仙崎は足を骨折してしまい、自力で脱出することができなくなった。仙崎と乗客はどうなるのか。

鑑賞レポート

海猿はドラマでやっている時からずっと見ていた。**2**回映画館で上映されているのも見に行った。この作品は、どれもかなりの迫力で、とても感動できる作品でした。この映画も、**2010**年の邦画の興行収入**1**位ということもあり、とても満足できた。人の命を助ける仕事はカッコいいと思いました。海上保安庁の絆の深さには感動した。人の命の重さも描かれており、かなり感動できるシーンが多かった。

海猿に出演した人たちは、この映画のためにかなりトレーニングをしたんだなと思いました。この作品は前作よりも、すごい迫力で、海猿シリーズで一番おもしろいと思いました。バディ同士の固い絆には感動した。来年の夏に、シリーズ第**4**弾が公開される。この作品は完結編だったので、次回作があるのは、かなり嬉しかった。次回作も必ず映画館で見ようと思います。この映画以上におもしろくなると期待している。

今月の鑑賞映画報告

海猿

評価 5/5

迫力満点でおもしろかった。

映画名「ルパン三世 血の刻印～永遠の mermaid～」

評価 8/10

ストーリー

裏社会の顔役藤堂は、不二子を人質にルパンへとあるオークションに出品される宝石「人魚の鱗」を盗むように脅迫する。ルパンは秘密を語る。かつて祖父は手にしながら持ち帰らなかったただ一つの財宝があると。その名は「八百比丘尼の財宝」であった。

**Wikipedia** 参照

鑑賞レポート

全キャラ声優が新キャストになって、声などが違和感がありました。また絵などは昔にちょっと戻った感じがします。ストーリーはすごくおもしろいです。映像がきれいな感じがして、よりリアリティが出ました。ルパン三世シリーズの中で地上波初登場で新作だけあって、おもしろいです。そして、ルパン三世と言えば、ハラハラさせてくれる映画なので、とっても面白いです。しかし、ルパンの超身体能力で罠などを避けていくというのもすごいと思います。激しい戦闘などの描写がきれいに描かれていました。新ルパン三世になって、スタートだと思います。

映画名「SUPER 8」

評価 8 / 10

ストーリー

主人公のジョー・ラムとその友達の少年少女たちは六人でゾンビの映画を作っていた。ある日、ジョーら六人は映画の撮影をするために町を通る線路沿いの駅で映画の撮影をすることになる。しかし、そこで六人は大きな列車事故に合うが、無事助かる。しかし、その後町には電子レンジがなくなったり、人がさらわれたりと、奇妙な事件が起こるようになる。そして六人のうちの一人のアリスがさらわれ、ジョーやケアリーが助けに行く。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

この映画はSF映画にしては、少年少女たちの感情が鮮明に描かれていたので、とても新鮮だった。少年少女たちは親の反対を押し切って映画撮影をしていたので、本当に映画が好きなんだという気持ちが伝わってきました。しかし主人公のジョーは、六人のうちで唯一の少女であるアリスのことが好きになってしまったので、余計に行きたくなかったんだと思いました。六人が町を通る線路沿いの駅で映画撮影をしていた時に起こった列車事故のシーンはとても迫力があるシーンでした。その後町で奇妙な事件が起きるようになり、アリスもその事件に巻き込まれ、さらわれてしまった。しかし、その時ジョーは自分でアリスを助けに行ったので、とても勇敢だと思いました。しかしジョーはアリスをさらった宇宙人に見つかるが、宇宙人を少し説得すると、あっさりその事件は終わってしまったので、残念だった。しかし、エンドロールで六人が撮影した映画が流れていて、面白かったので、良かったです。

今月の鑑賞映画報告

SUPER 8

評価 4 / 5

主人公やその友達の少年少女の会話がとても新鮮だった。

トランスフォーマー

評価 5 / 5

日常にある機械がロボットに変身するシーンはとても迫力があつた。

映画名「サウンド・オブ・ミュージック」

評価 7/10

ストーリー（ネタバレあり）

修道女であるマリアは、あることをきっかけに家庭教師をすることになる。家族と親しくなるとともに、マリアは恋心を抱いてしまう。この気持ちに気付きたくないマリアは、その後も家庭教師を続けるのだが…。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

この映画を観る前に、しっかりとストーリーを把握した上で観ることをオススメします。マリアが家庭教師として行くことになった家は、子供が7人いるということや、その7人の子供の父親は軍人であるということをできるだけ把握しないと、この映画を観るのは少ししんどいと思います。この映画は、少し珍しくて、ミュージカル形式の映画です。なので出演している俳優や女優、子役達みんながとても歌がうまいというところが一つの見どころでもあります。

冒頭部分の大草原でマリアが歌うシーンでは、マリアの歌と後ろの背景がとても合っていて、素晴らしいと思いました。この他にもマリアと子供たちが買い物に行くシーンの景色にも目を奪われます。やっぱりこの映画の一番の見どころは、歌だと思います。知っている曲も何曲かあると思うので、そこに注目するとより一層この映画を楽しむことができると思います。

## 鑑賞レポート 10901

映画名「ゲットスマート」

評価 4 / 10

ストーリー

秘密諜報機関の分析官マックスがスパイとしてエージェント**99**とコンビを組み、犯罪組織を追う。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

主人公の勘違いっぷりがとってもおもしろかったです。アン・ハサウェイ扮するエージェント **99**（ダブルナイン）は、全身整形女で敏腕スパイです。アクションをしているアン・ハサウェイがとってもキレイでかっこよくて、見とれてしまいます。笑える映画ですが、ただ話自体は自分的にはあまり面白くなかったです。見どころは、マックスとエージェント **99** の掛け合いや勘違いっぷり、親友二人との会話とかだと思います。親友というのは同じ分析官の仲間で、面白いおもちゃでマックスを助けてくれたり、キャラが濃くて面白いです。続編ではこの二人が主人公になる映画もあるようなので、機会があれば、見たいなと思っています。

映画名「源氏物語 千年の謎」

評価 7/10

ストーリー（ネタバレあり）

平安王朝の時代、才女と誉れ高い紫式部は、時の権力者、藤原道長の娘、彰子の女房として宮中に仕えた。娘を中宮にし、権力を振るいたい道長は、御顔の心が娘に向くよう、紫式部に物語を書くよう命じる。式部が綴る「源氏物語」の主人公、光源氏は輝く美貌と華やかさで、宮中の女性を夢中にさせる。物語は見事、帝の心を掴み、晴れて彰子は帝の後となる。道長の野望は叶った。しかし、それでも式部は物語を書き続けるのだった。

**goo** 映画参照

鑑賞レポート

私は、源氏物語千年の謎を見る前に、まんがを読んでいたのですが、内容は知っていたのですが、やはり映像で見ると全然違いました。例えば、藤原道長や紫式部の着ていた服が、まんがでは、ある程度しかわかりませんが、色の付け方などが見れて、とてもよかったです。少し内容は難しかったのですが、紫式部が藤原道長と光源氏を照らし合わせて書いている所が私はすごいと思いました。今の漫画家などは、自分の経験などを漫画にしたりしますが、この時代でそのようなことができ、本当にすごい人物だったんだなと改めて思いました。この映画を見て、一番思ったことは女の嫉妬は本当に恐ろしいものだと思います。将来私も光源氏のような人に出会ってみたいと思いました。

今月の鑑賞映画報告

源氏物語

評価 4 / 5

難しい

映画名「サマーウォーズ」

評価 9 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

小磯健二は少し内気で人づきあいが苦手な 17 歳。数学オリンピック日本代表の座をあと一步で逃したことをいつまでも悔やんでいる理系オタク。健二はある日、憧れの夏希先輩からバイトを持ちかけられ、一緒に彼女の故郷まで旅行することになる。バイト内容は、「ご親戚」の前で彼女のフィアンセのフリをすること。しかし、仮想空間“OZ”のパスワードを解いてしまったことから、世界を揺るがすトラブルに巻き込まれてしまい…。

どれだけ科学が進歩し、生活の環境が変わろうとも、最も大切にすべきものは何か？ということをおしえてくれるだろう。

goo 映画参照

鑑賞レポート（ネタバレあり）

主人公の小磯健二は、ネットの仮想空間“OZ”の管理人だった。その管理をしている時に、学校で人気のある夏希先輩に、バイトとして、里帰りするのについてきてほしいと頼まれる。そこに着くまで、聞かされなかった本当のバイト内容は、なんと夏希の彼氏のフリをしてほしいという内容だった。アメリカ留学から帰ってきたところの大学生。という無理のある条件もついていた。何故そんな嘘をついたのかというと、夏希のおばあちゃんが 90 歳の誕生日を迎えるまでに、こんなにも良い彼氏がいるから安心して、と言いたかったのだ。しかし、そんな嘘はすぐにバレる。そんな中、健二の“OZ”のアカウントがのっとられてしまう。ネット上のこととはいえ、この世界では、色々交通機関などに問題が起こるほど大変なことだった。そのアカウントをうばった人を倒そうとするが、勢力を強めていくばかりで…。その人が交通機関をむちゃくちゃにしたせいで、おばあちゃんの急な病気に医者は間に合わずに、亡くなってしまった。そこから健二と夏希の親戚たちで、皆で協力して、そのアカウントを倒すという、家族の絆の良い話です。とても優秀作品に選ばれた感動の物語なんで、観てみてください。

映画名「ルパン三世 血の刻印～永遠の mermaid」

評価 8/10

ストーリー

今回ルパンが狙うのは2つの宝石で、人魚の鱗と、竜の鱗を取り、昔の古文書に書いてある刻印を解くための道具なのです。ある女の子がルパンに弟子入りを求めてOKをもらったのです。その女の子はお姉ちゃんを助けたくて、その2つの秘宝を狙っていたひろむという男に御姉ちゃんをさらわれていて、後々そのお姉ちゃんも刻印解く道具なのです。封印を解いて、どんな宝があるのか。

鑑賞レポート

今回のルパン三世は、おなじみのシーンもあり、少し感じがかわったように思いました。いつもお宝を取るとき先まで計算を立て、ピンチな時には、一瞬でひらめく名案などがとてもかっこよく映って、時に面白くて、エロイ時もありますが、とてもそういう人芸性などがとても良いと思います。今回は小さい女の子も一緒に、お宝などを取るのに手伝いをしたりして、ルパンと小さい子のやり取りなど新鮮に思えました。そしてすごく驚きの方法などがすごくたくさんあって、釘付けになってしまいます。謎解きや頭が凄く切れるので、とてもかっこよく思います。そしてどんな不可能な事も可能に凄さがとても良いです。このルパン三世はルパンだけではなく、次元や五右衛門もとてもかっこいいです。

今月の鑑賞映画報告

天空の城ラピュタ

評価 5 / 5

ラピュタを探すというファンタジーさがとても良いです。

映画名「余命1ヶ月の花嫁」

評価 5 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

イベントコンパニオンの千恵（榮倉奈々）は、展示会場で知り合った太郎（瑛太）から交際を申し込まれる。だが千恵はその時既に乳がんが診断されていた。悩みながらも交際をスタートさせるが、数カ月後、自分の病気のこと、そして胸を切除しなければならないことを告白。太郎に別れを告げ、姿を消してしまう。そんな千恵を追って、屋久島へたどり着く太郎。“俺は変わらない。一緒に頑張ろう。”その言葉に動かされ千恵は再び太郎と生きていくことを決意。しかし、そんな2人にとってつらい事実が明らかになる。千恵のガンが再発したのだ。激しい痛みと闘いながら治ると信じて治療に励む千恵。そして献身的に看病する太郎、千恵の父・貞士（柄本明）、千恵の叔母・加代子（手塚理美）。やがて3人は医師から千恵の余命があと1ヶ月であると告げられる。

goo 映画参照

鑑賞レポート（ネタバレあり）

感動した場面が数多くありましたが、その中でも千恵（榮倉奈々）がガンと向き合い、生きている姿に心を打たれました。こんなにも若いうちにガンが見つかるなんて、私だったら信じられないと思います。でも千恵さんは、どんな事があっても常に前向きにガンという病気に立ち向かっていました。私はそんな千恵さんを見て、今自分が生きていることの幸せというものを改めて痛感しました。それと同時に千恵さんの思いや、喜びや辛さ、色々なものが伝わってきました。私は明日が来ることへのありがたさを実感させられました。そして、それは奇跡なのだと本当に思いました。これからは今まで以上に普段なにげなく過ごしている毎日を大切にしていきたいなと思います。そして、この映画を見た他の人たちにも、命があるだけでもすごくありがたいということを、明日が来ることに感謝しなければならないということを実感してほしいです。

映画名「**THE** 有頂天ホテル」

評価 9／10

ストーリー

大晦日の高級ホテルを舞台に、従業員と宿泊客がホテル内で続発するトラブルに巻き込まれて、てんやわんやしつつ、それぞれにとって特別な一日を乗り切ろうとするさまを、“グランドホテル形式”で描くシュチュエーションコメディ。

goo 映画参照

鑑賞レポート

三谷作品を見た後は必ず書いている気がするが、やっぱりおもしろい。やっぱり三谷幸喜だな。

“ホテル”という固定された舞台で、すべてのキャストが絡み合っ生み出されるコメディ要素が、頭を使わなくていいから、眠れない深夜に朝まで過ごすために見るのにもってこい（自分も夜3時から見た）と思う。

やっぱりキャストとキャラがいいなって感じる。ほんのちょっと不完全燃焼な部分もあるけど、まあ突き詰めて考えてしまうと、ボロがどんどん出てくるから考えない。

この手のコメディは後々考えないで、見たその時に「おもしろい」「笑える」「そりゃないよ」「そうきたか」「なるほど」というように次々に処理するのが一番の見方なのかなって思う。今月見た4本の中で1番ラクに見れたので、最高の評価の9点で、凄く楽しめました。

今月の鑑賞映画報告

**THE** 有頂天ホテル 評価 5／5

ミッション・インポッシブルV 評価 4／5

期待通り

ワイルド7 評価 2／5

いまいち

リアル・スティール 評価 2／5

疑問点てんこもり、よくある設定、フツウの映画って感じ

映画名「リアル・スティール」

評価 7 / 10

ストーリー

ロボット格闘技を通じて父子が絆を取り戻していく姿を描く。

鑑賞レポート

この映画を見る前に私は、ロボット格闘技って…、あんまりおもしろくなさそう…とっていました。ですが、映画を見てみると、家族愛にものすごく感動して心が暖かくなりました。不器用だけど、少しずつ父と子の絆が深まっていくところがとても良かったです。試合の場面では迫力があり、少しハラハラしました。そして心の中で思わず頑張れ！！と応援してしまいました。本当にこの映画「リアル・スティール」を見て良かったと思います。どの世代の人でも面白く見れると思うし、家族とみれば更に良いと思います。現代ではなく、未来のような設定ですが、何千年、何千年…といつまでたっても、親子の絆は大切なんだと改めて思いました。本当に素晴らしい映画で皆にも是非見てほしい映画でした。

映画.com 参照

今月の鑑賞映画報告

リアル・スティール

評価 4 / 5

感動しました。